



岩手県立一関第一高等学校附属中学校 の生徒が河川事業の業務を体験 ～治水対策の重要性や災害への備え等を学ぶ～

岩手河川国道事務所 一関出張所では、「中学生の社会体験学習事業」の一環として岩手県立一関第一高等学校附属中学校2年生(3名)の受け入れを行います。

体験学習では、管内工事現場・管理施設の見学や、河川の維持管理体験等を通して国土交通省の業務を理解してもらうとともに、治水対策の重要性や災害への備え等を学んでいただく予定です。

■期間: 10月23日(火)～10月25日(木)までの3日間 (場所: 一関遊水地内 他)

■実習生徒: 岩手県立一関第一高等学校附属中学校 2年生(3名)

■主なスケジュール

- ・10/23(火) 国土交通省の役割・治水対策について学習、遊水地内現場見学 等
- ・10/24(水) 岩手・宮城内陸地震災害対応現場の見学、胆沢ダム見学 等
- ・10/25(木) 船上巡視体験、堤防徒歩点検 等



▲第2遊水地 長島水門の現地見学



▲胆沢ダム内部の見学

【記者発表会: 岩手県政記者クラブ・一関市政記者クラブ】

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 一関出張所

一関出張所長 斎藤 巧(さいとう たくみ) 電話: 0191-23-2435



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』
～風化させない歴史とつなげる未来～